

## 第 147 回

# 日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会 プログラム



学会テーマ「病院情報システムの未来像」

会 期：平成 31 年 2 月 23 日（土）

時 間：10 時～18 時 10 分（9 時半受付開始）

会 場：北里大学医学部 IPE 棟 IPE ホール

例会長：大谷 慎一

北里大学医学部 輸血・細胞移植学

## ご挨拶

第147回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会  
例会長を仰せつかりました北里大学医学部輸血・細胞移植学の大谷慎一でございます。本支部例会の神奈川での開催は2014年以来、5年ぶりとなります。北里大学病院は本館（760床）と隣接する1号館（273床）を合わせて1,033床からなる特定機能病院であります。



北里大学は学祖・北里 柴三郎博士が生涯を通じて示された「事を処してパイオニアたれ。人に交わって恩を思え。そして叡智をもって実学の人として、不撓不屈の精神を貫け。」と門下生に常々説いていました。これを淵源とする建学の精神「開拓」「報恩」「叡智と実践」「不撓不屈」が今も引き継がれています。

今回のテーマは「病院情報システムの未来像」としました。平成25年1月に病院情報システムタスクフォース（以下TF）が日本輸血・細胞治療学会に誕生して6年が経過しました。TFでは、輸血医療に関連する病院情報システムの全国標準化を目指し、その第一歩として、病院情報システムに搭載されるべき最低限の業界標準を定めた「患者安全ガイド（輸血編）Ver. 1.0」を完成させ、平成27年11月にJAHIS（一般社団法人保健医療福祉情報システム工業会）のHP上にJAHIS制定済み標準/技術文書として掲載されました。その後、平成28年12月に「患者安全ガイド（輸血編）Ver. 1.1」が、第2弾としてJAHIS制定済み標準/技術文書としてHPにさらに掲載出来ました。このガイドがJAHIS会員に2年連続して周知されることになり、その重要性がシステムを構築する側に浸透することで、どのメーカーのシステムを採用しても、ほぼ同様の輸血安全対策が実装されることがさらに期待されています。さらに、平成29年9月に「輸血関連情報カード」、同年10月に「輸血管理システム内に保存する「学会推奨マスタ」」を学会HP上に掲載することが出来ました。平成30年は、「患者安全ガイド（輸血編）Ver. 2.0」が完成し、平成31年にJAHISのHP上での公開が予定されています。

このことから輸血に関する病院情報システムの進歩は、目覚ましく未来は明るいと考えております。本例会において、支部の皆様とも情報共有することが出来れば嬉しく思います。午前中からの看護師教育セミナーならびに初めての試みである共催セミナー（ランチョン）と丸1日お付き合いいただけましたら幸いです。どうぞ最後までご参加いただきまして、存分に盛り上げていただけますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

平成31年2月吉日

第147回日本輸血・細胞治療学会 関東甲信越支部例会長  
北里大学医学部輸血・細胞移植学

大谷 慎一

**【午前の部】** (10:00 ~ 11:15) (北里大学医学部 IPE 棟 IPE ホール)

**I. 看護師教育セミナー**

座長：牧野 茂義 (虎の門病院 輸血部)

<10:00 ~ 10:15>

講演 1. 看護師への輸血教育の充実と発展を目指して

松本真弓 (神鋼記念病院 血液病センター)

<10:15 ~ 10:45>

講演 2. 輸血看護の Q&A

西岡純子 (日本赤十字社 血液事業本部技術部 学術情報課 輸血情報係)

<10:45 ~ 11:15>

**II. 活動紹介 「輸血療法における地域包括ケアに向けた看護師教育の実践」**

座長：牧野 茂義 (虎の門病院 輸血部)

松本 真弓 (兵庫県合同輸血療法委員会 看護師ワーキンググループ班長)

紹介 1: 群馬県輸血関連認定看護師会

鈴木浩子 (済生会前橋病院)

紹介 2: 茨城県輸血関連認定看護師養成部会

高野美由紀 (小松整形外科医院)

紹介 3: 埼玉県合同輸血療法委員会—輸血業務検討小委員会—看護師部会

木村秀実 (埼玉県協同病院)

紹介 4: 長野県献血推進協議会輸血療法部会看護師専門委員会

堀内香与 (信州大学医学部附属病院)

紹介 5: 千葉県合同輸血療法委員会看護師ワーキンググループ

猪越ひろむ (千葉大学医学部附属病院)

紹介 6: 新潟県看護師部会

久保淳美 (新潟県立新発田病院)

…… 休憩 11:15~ 12:00 (昼食) ……

**【お昼の部】** (12:00 ~ 13:00) (北里大学医学部 IPE 棟 IPE ホール)

**Ⅲ. 共催セミナー (共催: シスメックス株式会社)**

座長: 大谷 慎一 (北里大学医学部 輸血・細胞移植学)

LS 「輸血感染症」

松林圭二 (日本赤十字社 血液事業本部 中央血液研究所 感染症解析部)

**【午後の部】** (13:00 ~ 18:10) (北里大学医学部 IPE 棟 IPE ホール)

<13:00 ~ 13:05>

開会挨拶 例会長: 大谷 慎一 (北里大学医学部 輸血・細胞移植学)

<13:05 ~ 14:05>

**I. シンポジウム 1: 輸血関連情報カードの最新の取り組み**

座長: 奥田 誠 (東邦大学医療センター大森病院 輸血部)

野崎 昭人 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 輸血部)

1. 輸血関連情報カードならびに標準マスタについて

杉本達哉 (東海大学医学部附属病院 輸血室)

2. 輸血関連情報カードの運用と課題

齋藤光平 (東邦大学医療センター大森病院 輸血部)

3. 不規則抗体カードの運用 ー気を付けていること・未解決なことー

伊丹直人 (埼玉県立がんセンター検査技術部輸血管理室)

4. 輸血関連情報カードの有効活用を目指して

ー不規則抗体保有カード、血液型カード発行の経験からー

堀越啓子 (三井記念病院 輸血科)

5. 埼玉県での「赤血球不規則抗体保有カード」発行の取り組みと今後の展開

大木浩子 (埼玉医科大学総合医療センター 輸血部)

…… 休憩 14:05 ~ 14:15 ……

<14:15 ~ 16:15>

**II 一般演題**

座長: 小本 美奈 (北里大学病院 輸血部)

佐藤 忠嗣 (横浜労災病院 輸血部)

1. 救命センター初療室における緊急異型適合輸血に対する active transport refrigerator、ATR 運用実績例  
浅香祐幸 他（東京都立墨東病院 検査科）
2. 抗 Gya を保有する Gy(a-)妊婦の1症例  
松浦見帆 他（埼玉医科大学総合医療センター 輸血部）
3. 東海大学大磯病院における赤血球製剤管理  
兵藤理 他（東海大学大磯病院 中央臨床検査科）
4. テムセル HS 注の院内管理体制と調製手順  
中塩屋千絵 他（東海大学医学部附属病院 輸血室）
5. 抗 Dib(Diego b)陽性の自己血輸血症例の経験  
上原茅紘 他（東京大学医学部附属病院 輸血部）
6. 当院で経験した体位性偽性貧血を疑う症例  
大矢未来 他（がん・感染症センター都立駒込病院 輸血・細胞治療科）  
  
座長：名倉 豊（東京大学医学部附属病院 輸血部）  
豊崎 誠子（東海大学医学部附属病院 輸血室）
7. 輸血療法に関する広報の取り組み  
原田佐保 他（横浜市立大学附属病院 輸血・細胞治療部）
8. 悪性リンパ腫治療中に血液製剤からの移行抗体により HBs 抗体が陽転化した1例  
齊藤理央 他（獨協医科大学埼玉医療センター 輸血部）
9. 輸血療法における技師と看護師の連携：問題と展望  
橋口友恵 他（JR 東京総合病院臨床検査科）
10. I型 CD36 欠損の腹部大動脈瘤患者に対する輸血対応の1例  
岸まい子 他（東邦大学医療センター大森病院 輸血部）
11. 医療機関と血液センターの相互理解による連携改善を目的とした職員研修の取り組み  
浦谷寛 他（関東労災病院 輸血部）
12. 赤血球製剤の院内適正在庫数の検討  
永田則子 他（けいゆう病院 臨床検査科）
13. 赤血球製剤の適正な在庫管理について  
正木杏奈 他（北里大学病院 輸血部）

…… 休憩 16:15 ~ 16:30 ……

<16:30 ~ 17:30>

### Ⅲ. 特別講演

座長：金森 平和（神奈川県立がんセンター 血液内科・輸血医療科）

演題名：血小板輸血 ―適正使用と最近の話題―

演者：宮崎 浩二（北里大学医学部 輸血・細胞移植学）

<17:30 ~ 18:00>

### Ⅳ. シンポジウム 2：病院情報システムの未来像

座長：大谷 慎一（北里大学医学部 輸血・細胞移植学）

岸野 光司（自治医科大学附属病院 輸血・細胞移植部）

#### 1. 輸血システムに求められる未来像

奈良木裕一（株式会社エイアンドティー）

#### 2. ブロックチェーンによる血液製剤情報管理

中根謙祐（株式会社エヌデーデー）

#### 3. 血液製剤発注システムについて

井上正弘（日本赤十字社 血液事業本部経営企画部）

<18:00 ~ 18:05> 優秀演題賞表彰

<18:05 ~ 18:10> 講評・閉会挨拶

支部長：岡崎 仁（東京大学医学部附属病院 輸血部）

<第147回日本輸血・細胞治療学会関東甲信越支部例会事務局>

〒252-0374

神奈川県相模原市南区北里1-15-1

北里大学病院輸血部

TEL：042-778-8148

FAX：042-778-8599

E-mail: ohtani@med.kitasato-u.ac.jp

# 会場アクセス・会場案内図

## 【アクセス】

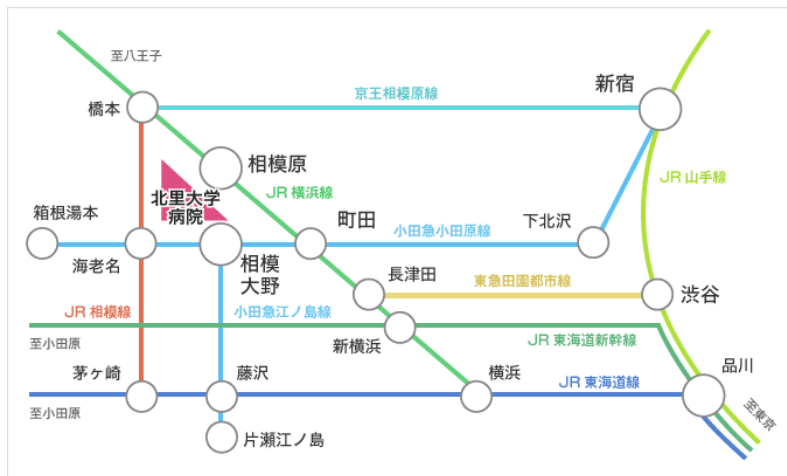
### ● 小田急線 相模大野駅

新宿から急行 40分

藤沢から急行 25分

小田原から急行 50分

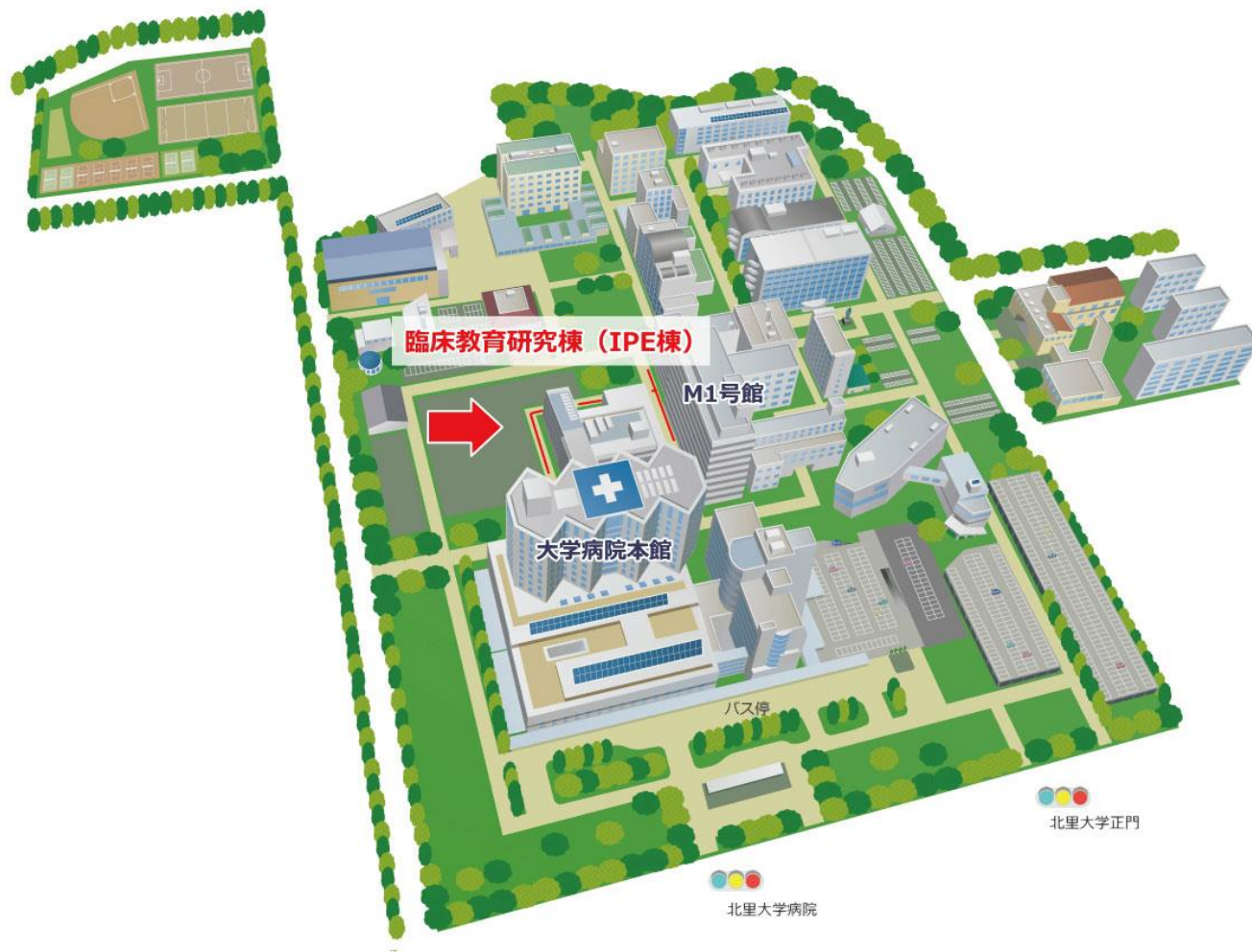
北口改札を出て、神奈中バス1・2・3番乗り場よりバスに乗車し約25分、「北里大学病院・北里大学」で下車。



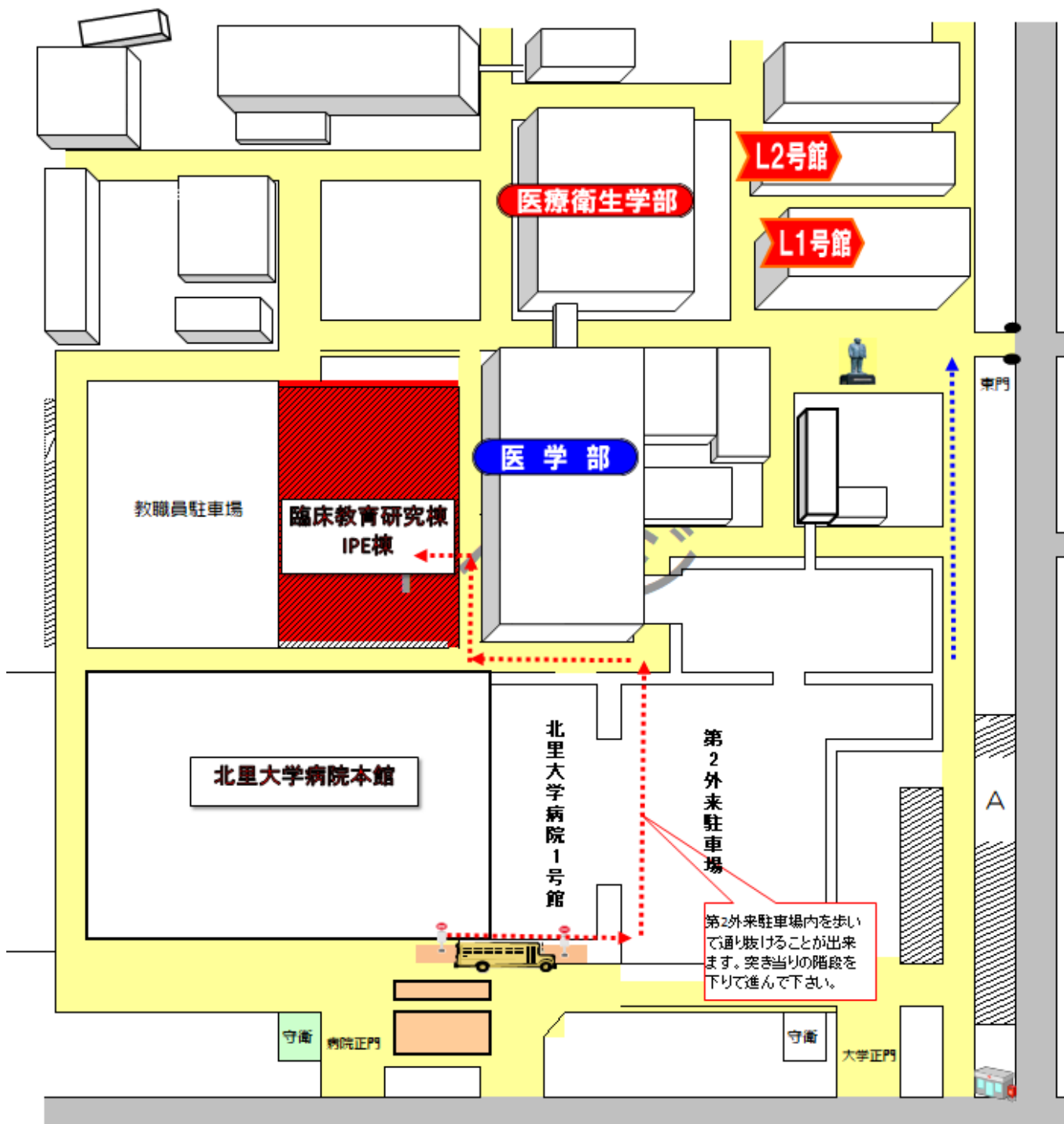
アクセス詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/access/index.html>

<路線案内図>



【バス停から IPE 棟までの順路】





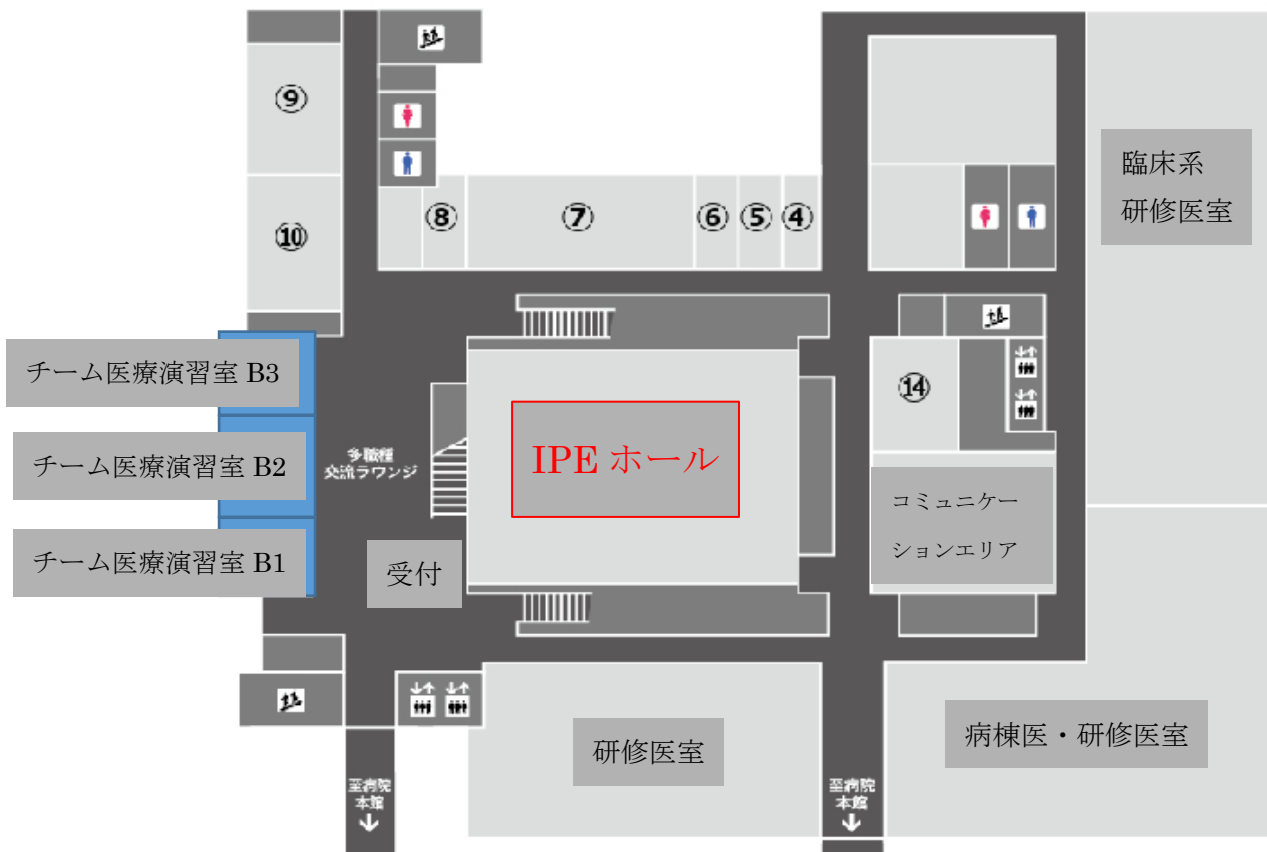
# IPE 棟 1F



11 : 15 ~ 12 : 00 (昼食)

1 F 食堂

# IPE 棟 3F



## 共催企業一覧

アステラス製薬株式会社

旭化成ファーマ株式会社

旭化成メディカル株式会社

株式会社エスアールエル

MSD株式会社

オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス株式会社

株式会社カイノス

シスメックス株式会社

一般社団法人 日本血液製剤機構

富士フィルム和光純薬株式会社

富士レビオ株式会社

バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社